



2016 年度 事業報告

自 2016 年 4 月 1 日

至 2017 年 3 月 31 日

1. 印刷文化・技術に関する資料の収集・保存および展示

1、ニッシャ印刷歴史館 展示物の一般公開

実施年月日	団体での主な見学者
2016 年 5 月 14 日	ワークショップ開催時 13 名
5 月 25 日	中小企業家同友会 12 名
6 月 9・10 日	技術交流会関係者 45 名
7 月 1 日	京都造形芸術大学教授・学生 11 名
7 月 13 日	京都華頂大学教授・学生 23 名
7 月 27 日	読売文化センター 13 名
8 月 5 日	ゆめまちチャレンジ隊 82 名
8 月 6 日	ワークショップ開催時 13 名
8 月 29 日	龍谷大学生 7 名
9 月 17 日	檜原中学校吹奏楽部生徒・一般参加者 108 名
10 月 15・16 日	朗読会イベント開催時 118 名
10 月 29 日	超京都トークイベント開催時 20 名
11 月 14 日	習字教育財団 10 名
11 月 19・20 日	関西文化の日 73 名
12 月 8 日	NPO 法人 都草関係者 7 名
2017 年 1 月 13 日	地元関係団体 14 名
1 月 26 日	朱雀第 5 学区女性会 13 名
2 月 3・4 日	ライブイベント開催時 115 名
2 月 8 日	シニア自然大学校関係者 8 名
3 月 4 日	ワークショップ開催時 12 名
3 月 17 日	シニア自然大学校 76 名
3 月 23 日	NPO 法人 都草会員 43 名
	小計 836 名
	その他、随時見学希望者公開 218 名
	合計: 1054 名

2、印刷文化・技術に関する書籍、道具、機械等メモリアル品の収集と一元的管理を引続き実施した。

- ・1 昨年4月から開始した、日本写真印刷が携わり、資料として購入・保管してきた書籍等各種印刷物の整理・データベース化作業は順調に進み、保管推定3万冊のうち約2万冊のデータ入力が完了した。
- ・本館1階にあるニッサ印刷歴史館の第2・第3展示室のリニューアルを財団事務局主体で進め、3月末に完成した。

2. 印刷文化・技術の振興を目的とした活動および助成・支援

1、講座の開催

(1) ワークショップ

① 第27回「はじめてのコロタイプ印刷」

2016年5月14日(土)

参加者 一般応募者26名

講師 株式会社便利堂 山本修氏ほか4名

② 第28回「はじめての切り絵②」

2016年8月6日(土)

参加者 一般応募者29名

講師 早川勝二氏

③ 第29回「はじめての和紙ちぎり絵」

2017年3月4日(土)

講師 ハクビ和紙ちぎり絵学院

(2) パネルディスカッション

① 超京都アーティストトーク

2016年10月30日(日)

本館2階レセプションホール

登壇者6名 入場者36名



(3) 異文化交流

- ① 檜原中学校吹奏楽部演奏会
2016年9月17日(土)
本館2階レセプションホール
演奏者75名、関係者4名 入場者108名

- ② グラスマーケッツ朗読会
2016年10月15日(土)、16日(日)
本館2階レセプションホール
出演者6名 入場者168名

- ③ 坂本美雨+CANTUSコンサート
2017年2月2日(金)、3日(土)
本館2階レセプションホール
出演者8名、関係者32名 入場者162名

2、助成事業

- ① 「第9回 KYOTO 版画 2016 日本・カナダ国際版画展」
 - *主催 版画京都展実行委員会
 - *期間 2016年10月4日～16日
 - *会場 京都市美術館(本館)
西日本版画界の活性化と若手育成を目的に、隔年で開催されている版画展であり、今回は古くからの多民族国家であるカナダの伝統文化を受け継いだ、現在版画と日本版画との国際交流展であった。

- ② 「第19回京都国際学生映画祭」
 - *主催 公益財団法人大学コンソーシアム京都
 - *期間 2016年11月26日～12月2日
 - *会場 烏丸京都シネマ
京都を中心とする関西圏の学生が主体となって企画・運営を行う日本最大の国際学生映画祭。世界各国の学生が制作した自主映画のコンペティションで、昨年の217件の応募に対し今年は539件と急増、そのうち7割に当たる372件が海外からの応募であった。

③ 「第3回かみぎょうフォトコンテスト」

*主催 上京区まちづくり円卓会議魅力発信部会有志の会

*第1次期間 2017年3月5日～17日

*会場 上京区総合庁舎

*第2次期間 2017年3月25日～4月2日

*会場 京都府庁旧本館

一般カメラマンを対象に、上京区内の隠れたスポットやお気に入り場所を撮影したフォトコンテスト。今回の応募総数 325 点から優秀作 20 点を事前に写真家の水野克比古氏が選定。その中から協賛・助成先が個別に優秀賞を決め表彰するもので、当財団賞作品も展示された。

④ NPO 法人史料データ保存ネットワーク

*京都を中心に活動する特定非営利活動法人で、社会に埋もれ捨てられていく無数の「古文書」を調査・解読し、次世代に残すために保存、書籍化に努めている。

3. その他情報発信事業

1、財団ホームページの運用・管理

設立主旨、目的、財務内容などの財団情報を公開

期 間	アクセス数
2009 年度	1,825 件
2010 年度	1,976 件
2011 年度	1,845 件
2012 年度	1,761 件
2013 年度	1,858 件
2014 年度	3,715 件
2015 年度	4,123 件
2016 年度	3,622 件



- 2、 Web マガジン「AMeeT－Art Meets Technology 京都から世界へ」の運用・管理
財団公益事業の一環として、「アート・文化財とテクノロジーを結ぶサイト」をコンセプトに、コラム・イベント案内・デジタルアーカイブなどを隔月で更新、リリース

期 間	アクセス数
2009 年度	5,750 件
2010 年度	28,731 件
2011 年度	35,685 件
2012 年度	40,797 件
2013 年度	41,894 件
2014 年度	44,091 件
2015 年度	38,661 件
2016 年度	45,101 件

3、その他トピックス

- (1) 9月10日(土)に開催された第14回朱雀5学区のまつりに例年通り招待され、来賓の中京区長や地元警察・消防署長、学校関係者や各区の自治連合会などの近隣関係者へ、日頃の財団事業協力に対しお礼を述べるとともに、より懇親を深めた。
- (2) NHK 京都放送局が企画した、地元京都企業が運営する博物館・資料館の中で、特にその特性が活かされた学びの施設としてニッサ印刷歴史館が取り上げられ、本館や印刷歴史館内部の様子が、NHK 総合テレビで11月2日夕刻の「ニュース630」と、11月20日昼の2回にわたり京都および関西圏全域に放映された。
- (3) 関西広域連合・関西元気文化圏推進協議会主催の「第14回関西文化の日」に例年通り協賛し、11月19日(土)と20日(日)にニッサ印刷歴史館を公開し、多数の来館者があった。
- (4) 12月5日から9日にわたりドイツに出張し、グーテンベルク博物館やハイデルベルグ本社および現在ニッサ印刷歴史館の中央に展示しているグーテンベルク活版印刷機の復刻機を制作したラッファー工房を訪ね、館長ほかそれぞれ懇親と知見を広めた。

正味財産増減計算書 予算対比

自 2016年4月1日 至 2017年3月31日

(円)

科 目	決 算	予 算	差 額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取配当金	8,017,561	8,000,000	17,561
事業収益			
体験活動参加費	118,500	150,000	▲ 31,500
受取寄附金			
受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
雑収益			
受取利息	391,074	70,000	321,074
経 常 収 益 計	58,527,135	58,220,000	307,135
経常費用			
事業費			
収集・保存・展示	1,162,146	7,000,000	▲ 5,837,854
振興・助成・支援	1,530,916	2,500,000	▲ 969,084
その他情報発信事業費	4,139,208	4,000,000	139,208
給与手当	8,146,306	9,000,000	▲ 853,694
旅費交通費	1,381,523	200,000	1,181,523
通信費	42,862	50,000	▲ 7,138
賃借料	103,680	100,000	3,680
保険料	11,640	0	11,640
租税公課	2,000	0	2,000
雑費	107,418	0	107,418
事 業 費 計	16,627,699	22,850,000	▲ 6,222,301
管理費			
会議費	358,159	500,000	▲ 141,841
事務用品費	261,026	300,000	▲ 38,974
諸会費	146,000	60,000	86,000
給与手当	2,036,577	2,240,000	▲ 203,423
旅費交通費	23,078	50,000	▲ 26,922
通信費	10,715	20,000	▲ 9,285
修繕費	41,040	0	41,040
賃借料	25,920	30,000	▲ 4,080
雑費	580,690	600,000	▲ 19,310
管 理 費 計	3,483,205	3,800,000	▲ 316,795
経 常 費 用 計	20,110,904	26,650,000	▲ 6,539,096
評価損益等調整前当期経常増減額	38,416,231	31,570,000	6,846,231
投資有価証券評価損	939,795	0	939,795
当期経常増減額	37,476,436	31,570,000	5,906,436
2. 経常外増減の部			
経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経常外費用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	37,476,436	31,570,000	5,906,436
一般正味財産期首残高	118,277,627	119,068,210	▲ 790,583
一般正味財産期末残高	155,754,063	150,638,210	5,115,853
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益			
投資有価証券評価益	297,000,000	0	297,000,000
当期指定正味財産増減額	297,000,000	0	297,000,000
指定正味財産期首残高	822,270,403	986,370,403	▲ 164,100,000
指定正味財産期末残高	1,119,270,403	986,370,403	132,900,000
III 正味財産期末残高	1,275,024,466	1,137,008,613	138,015,853

正味財産増減計算書 前年対比

自 2016年4月1日 至 2017年3月31日

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取配当金	8,017,561	8,017,561	0
事業収益			
体験活動参加費	118,500	120,600	▲ 2,100
受取寄附金			
受取寄附金	50,000,000	50,000,000	0
雑収益			
受取利息	391,074	61,240	329,834
経常収益計	58,527,135	58,199,401	327,734
経常費用			
事業費			
収集・保存・展示	1,162,146	529,405	632,741
振興・助成・支援	1,530,916	9,873,992	▲ 8,343,076
その他情報発信事業費	4,139,208	4,070,088	69,120
給与手当	8,146,306	9,394,630	▲ 1,248,324
旅費交通費	1,381,523	171,654	1,209,869
通信費	42,862	55,235	▲ 12,373
賃借料	103,680	103,680	0
保険料	11,640	0	11,640
租税公課	2,000	0	2,000
雑費	107,418	0	107,418
事業費計	16,627,699	24,198,684	▲ 7,570,985
管理費			
会議費	358,159	523,461	▲ 165,302
事務用品費	261,026	363,346	▲ 102,320
諸会費	146,000	53,000	93,000
給与手当	2,036,577	2,348,658	▲ 312,081
旅費交通費	23,078	42,913	▲ 19,835
通信費	10,715	13,809	▲ 3,094
修繕費	41,040	0	41,040
賃借料	25,920	25,920	0
雑費	580,690	538,779	41,911
管理費計	3,483,205	3,909,886	▲ 426,681
経常費用計	20,110,904	28,108,570	▲ 7,997,666
評価損益等調整前当期経常増減額	38,416,231	30,090,831	8,325,400
投資有価証券評価損	939,795	0	939,795
当期経常増減額	37,476,436	30,090,831	7,385,605
2. 経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	37,476,436	30,090,831	7,385,605
一般正味財産期首残高	118,277,627	88,186,796	30,090,831
一般正味財産期末残高	155,754,063	118,277,627	37,476,436
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益			
投資有価証券評価益	297,000,000	0	297,000,000
基本財産評価損			
投資有価証券評価損	0	164,100,000	▲ 164,100,000
当期指定正味財産増減額	297,000,000	▲ 164,100,000	461,100,000
指定正味財産期首残高	822,270,403	986,370,403	▲ 164,100,000
指定正味財産期末残高	1,119,270,403	822,270,403	297,000,000
III 正味財産期末残高	1,275,024,466	940,548,030	334,476,436

貸借対照表

2017年3月31日 現在

(円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	115,084,538	118,400,117	▲ 3,315,579
みずほ普通預金	15,084,538	8,400,117	6,684,421
みずほ定期預金	100,000,000	110,000,000	▲ 10,000,000
流 動 資 産 合 計	115,084,538	118,400,117	▲ 3,315,579
2. 固 定 資 産			
基 本 財 産			
投資有価証券	1,065,888,660	768,888,660	297,000,000
メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0
基 本 財 産 合 計	1,119,270,403	822,270,403	297,000,000
そ の 他 固 定 資 産			
投資有価証券	39,060,205	0	39,060,205
美 術 品	1,728,000	0	1,728,000
そ の 他 固 定 資 産 合 計	40,788,205	0	40,788,205
固 定 資 産 合 計	1,160,058,608	822,270,403	337,788,205
資 産 合 計	1,275,143,146	940,670,520	334,472,626
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
預 り 金	118,680	122,490	▲ 3,810
流 動 負 債 合 計	118,680	122,490	▲ 3,810
負 債 合 計	118,680	122,490	▲ 3,810
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
受贈投資有価証券	1,065,888,660	768,888,660	297,000,000
受贈メモリアル品	53,381,743	53,381,743	0
(うち基本財産への充当額)	(1,119,270,403)	(822,270,403)	297,000,000
指 定 正 味 財 産 合 計	1,119,270,403	822,270,403	297,000,000
2. 一 般 正 味 財 産	155,754,063	118,277,627	37,476,436
正 味 財 産 合 計	1,275,024,466	940,548,030	334,476,436
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	1,275,143,146	940,670,520	334,472,626

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券は、購入時の取得価額によっている。
- ・満期保有目的の債券並びに子会社及び関連会社株式以外の有価証券
時価のあるもの……期末日の市場価格に基づく時価法によっている。
時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(3) 消費税等の会計処理

税込経理によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	768,888,660	297,000,000		1,065,888,660
メモリアル品	53,381,743			53,381,743
合 計	822,270,403	297,000,000	0	1,119,270,403

投資有価証券の当期増加額297,000,000円は、日本写真印刷株式30万株を期末日(3/31)の東証1部終値(1株2,638円)で評価したときの評価益である。

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	1,065,888,660	1,065,888,660		
メモリアル品	53,381,743	53,381,743		
合 計	1,119,270,403	1,119,270,403	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メモリアル品	53,381,743		53,381,743
美術品	1,728,000		1,728,000
ソフトウェア	3,790,500	3,790,500	0
合 計	58,900,243	3,790,500	55,109,743

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
社債			
みずほフィナンシャル グループ無担保社債	20,000,000	19,956,000	▲ 44,000
合 計	20,000,000	19,956,000	▲ 44,000

附属明細書

1. 基本財産の明細

計算書類に対する注記2のとおり

2. 引当金の明細

該当なし

財産目録

2017年3月31日 現在

(円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金預金			
普通預金	みずほ／京都中央	事業資金	15,084,538
定期預金	〃	〃	100,000,000
流動資産合計			115,084,538
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	日本写真印刷株式 30万株 日晶産業株式 3,980株		791,400,000 274,488,660 (1,065,888,660)
メモリアル品	骨董印刷機他 30点		53,381,743
その他固定資産			
投資有価証券	ダイワ日本国債ファンド みずほファイナンスグループ無担保社債		19,060,205 20,000,000 (39,060,205)
美術品	Pham Luan 絵画「二重橋」		1,728,000
固定資産合計			1,160,058,608
資産合計			1,275,143,146
流動負債			
預り金	源泉所得税		118,680
負債合計			118,680
正味財産			1,275,024,466

以上、当財団の財産目録に相違ありません。

2017年 4月 28日

一般財団法人 ニッシャ印刷文化振興財団
理事長 鈴木 順也